



“一丁啮”が行く！

第95回：お花見

今年もお花見の時期が終わりましたね。毎年、桜が満開になる一週間ほど、何となく気持ちが晴れやかになるのは私だけでしょうか。

残念ながら私は今年、ゆっくりとお花見に行く機会に恵まれず、通勤途上などでチラ見する程度だったのですが、それでもやはり『きれいやなあ』と感慨はひとしおでした。

ところで、日本人って桜が好きですね。なんでかなあ?と思いネットで調べてみるとおもしろい記事が載っていました。

「日本人はなぜ桜を愛するのでしょうか。その歴史は古代神話以前にまでさかのぼります。

八百万の神の中に、山や田の神「サ」神が存在しました。「クラ」とは神が鎮まる座を意味し、サ神がその根元に鎮座したとされる木を「サクラ」と呼ぶようになったということです。サ神を信仰する古代の農民は桜の木に供え物をし、豊作を祈り、宴を行いました。この行為は遺伝子として連綿と受け継がれ、日本人が無条件で桜を好む理由の1つになったのではないかと考えられています。(ぐるなびから)」



へえ、そうなんです。

また花見の起源は奈良時代の貴族の行事が始まりだといわれているそうです。

そしてまた、多くの外国人にとっては、テレビやネットのニュースで桜開花情報が配信されるのが驚きだそうです。また、「桜の木の下で家族や友達とおいしそうな手作り弁当を食べる日本人の姿が最高にほほえましい・・・そしてうらやましい!」「満開の桜の

木の下で食べるお弁当。こんなにおいしい幸が他にあらうか・・・」と絶賛する声もあるとか。

いずれにしても、桜＝日本、日本＝桜なのでしょうね(*^_^*)

皆様は、今年、どこの桜をご覧になりましたでしょうか。



のほそ道

☺シリーズをご活用いただいているいろいろなお客様を
尋ねて感じたことや学んだことを徒然なるままに……

すっかり若葉の素敵な素敵な5月がやってまいりました～♪

最近、お客様から教えて戴いてばかりなので・・・

今号は、私「ITアドバイザー」が日頃よく口にする専門(?)用語を皆さんにお伝えします～!

システムの動作確認をしている時に「あっ? プリンタージャムってしもた!」って言葉が聞こえてきたときは・・・

何が起きているのか?お解りになりますか?

「紙詰まり」が発生しています♪

英語で詰まることを「JAM」って言いますがそこから日本人が動詞化してしまったようで「ジャムる」と使います。

これを叫んでいるときは、きっと印字テストしている時ですね～

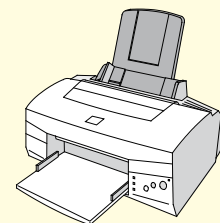
なかなか印字位置が決まらなくて、困っている時に二次災害として発生します・・・^^;

因みに・・・自動拳銃の薬莢が詰まる(薬莢不良)のも「ジャムる」と呼ぶそうです。

同じ「ジャムる」でもえらい違いですね。

「☹Q」がプリンターに関するトラブルで印字テスト中に「ジャムった!」って聞こえた時はけっこう焦っていますので心のなかで応援してやってくださいね～♪

プリンターはジャムっても仕事はジャムら(せ)ない?「☹Q」でした～(^^)



読者 訪問



第76回

お伺いした会社 巽紙工株式会社
お話を伺った方 代表取締役 巽 功一 様、岩城 美加 様
会社の所在地 〒537-0025 大阪市東成区中道 2-2-7
連絡先など TEL:06-6981-5821 FAX:06-6981-5623
事業内容 上製本、手帳、バインダー等、厚紙表紙加工業

今回は大阪森ノ宮の巽紙工さんにお邪魔し、巽社長と妹さんの岩城さんにお話を伺いました。現社長は三代目なのですが、お父上である前社長がご病氣になられたのを機に入社され38歳の若さで社長に就任されました。

同社は現社長の祖父にあたられる初代社長が昭和22年に創業され、手帳の表紙作りからはじめられたそうです。先代社長の時に上製本用の厚手の表紙の製作に特化されていったそうです。

本の製本には、パンフレットやカタログ、雑誌などによく使われるの簡単な並製本と、中身を糸でしっかりと綴じ、別仕立ての厚い表紙でくるむ上製本があります。いわゆるハードカバーというものですが、

この厚手の表紙は、厚めの紙やビニールで表紙を仕立てるものから、上質の布でくるみ、本の題名を金箔押しした重厚な雰囲気のものまで様々あります。いずれも手作業の多い仕事で効率が上げにくいのですが、先代社長は西日本で最初にドイツ製の自動機を導入され、機械化の先駆的工場として業績を上げられました。

今も1台何千万円もする機械が何台も稼働しており、先代社長の先見の明には頭が下がるとおっしゃっていました。

ドイツ製の高価な自動機

しかしながら、昨今は本の需要は低迷してきており、職人の高齢化と相まって廃業される同業者も多いとか。

現在、大阪で同様の仕事をしているところは2〜3軒だそうです。その中でも機械化が進んでいる強みと、断裁〜加工〜箔押しなどの一貫製造ができる強みを活かして、頑張っておられます。さらに本以外のジャンルへの進出、例えば、化粧品箱とか、賞状のカバーとか、ホテルのチョコレートの箱とか、いわゆる化粧箱といわれるものへの対応を拡大されておられます。

手作業の多い業種ではありますが、いち早く機械化を進められ、また、事務作業においても20数年前のMS-DOSの時代に当社の『はんばいQ』を導入していただいて業務効率の向上を図ってこられました。

一貫生産での短納期対応を武器に、パッケージ関係ラインナップの裾野を広げながら、その業界でのいわゆるニッチトップとして更なるご発展をされますことを心から祈念いたしております。

新たな取り組みの化粧品ケース



巽社長



手作業で表紙を貼り付けているところ



出来上がった卒業証書のカバー

TOPICS

「**Q info** ご意向・ご感想等 お伺いシート (Reply シート)」
のご返信、有難うございました。

先月、創刊 100 号を記念して『日頃のご愛読を感謝して、Reply シートをご返信いただきました方全員に、サポートロゴ入りフリクションボールペンを差し上げます。どうか、Q-info に対するご意見ご感想をお寄せ下さい。』とご案内いたしましたところ、13 名の方からご返信をいただきました。有難うございました。ご返信いただいた方には、今月号と一緒にサポートロゴ入りフリクションボールペンをお届けいたします。

そして、いただいたアンケートのお答えは以下のようなことでした。

「記事のボリュームについて」「情報量について」はすべての人が【適当】とお答え下さいました。

「紙面の読みやすさについて」は、【読みやすい】3 名、【適当】9 名、【読みにくい】1 名

「文字の大きさについて」は、【大きい】1 名、【適当】11 名、【小さい】1 名 でした。

ま、多少のご意見の違いはあるものの、当面は現状維持で良さそうですので、そういたします。

また、自由意見としては、「Excel ワンポイントアドバイス」などの記事が参考になっているのご意見が多く、今後、できるだけワンポイントアドバイスの記事を掲載していくようにしたいと思います。 ご返信下さった皆様方、有難うございました。

「サポートロゴ入りフリクションペン」をご希望の方は、今月号の Reply シート (ご意向・ご感想等お伺いシート) に希望欄を設けておきますので、チェックしてご返信下さい。来月号の発送時に同封いたします。

2016 年 5 月発行

Presented by Sys:port corp.

第101号



サポート情報提供機関誌

info